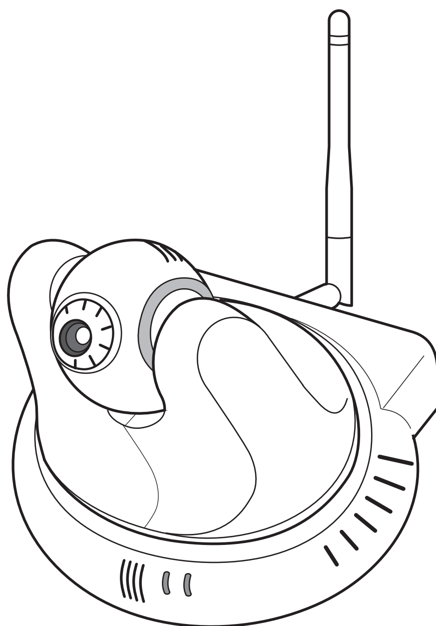


CG-WLNCPTG

取扱説明書



Y613-05883-00 Rev.C

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明



この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明


この記号は警告・注意を喚起するための記号です。記号の中または近くに具体的な警告・注意事項が示されています。

例）「発火注意」


この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例）「分解禁止」


この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例）「電源プラグをコンセントから抜く」

 警告



家庭用電源（AC100V）以外では絶対に使用しないでください。
異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。



必ず付属の専用ACアダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。
本商品付属以外のACアダプタ（または電源ケーブル）の使用は火災、感電、故障の原因となります。



電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル（またはACアダプタ）をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。



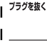
本商品（ACアダプタ含む）は風通しの悪い場所に設置しないでください。
過熱し、火災や破損の原因となることがあります。



本商品（ACアダプタ含む）を分解や改造はしないでください。
感電、火災、けが、故障の原因となります。

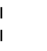


本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、ACコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。



煙が出たり、へんな臭いがしたら使用を中止し、ACコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。



濡れた手で本商品を扱わないでください。
電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。



本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

 注意


本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

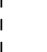


本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。
換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。



本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。



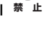

・直射日光のあたる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
・腐食性ガスの発生する場所
・台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
・ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
・壁の中などお手入れが不可能な場所
・強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所



事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。
本商品(ACアダプタ含む)にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。



雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。
落雷による感電の原因となります。



本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となることがあります。

無線商品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず「安全にお使いいただくためにお読みください」をお読みください。

・心臓ペースメーカの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
・医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
・電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の商品仕様に記載されている使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1　この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2　万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、本書に記載されている連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置(例:パーティションの設置など)についてご相談ください。

3　その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンタへお問い合わせください。

■セキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲であれば障害物(壁等)を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、

・ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピュータウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN商品のセキュリティに関する設定を行って商品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、商品を使用することをおすすめします。

はじめに

このたびは、「CG-WLNCPTG」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

●記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

注意	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。	メモ	補足事項や参考となる情報を説明しています。

●表記について

本商品	CG-WLNCPTG のことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
LAN ケーブル	本書では、UTP ケーブル（アンシールド･ツイストペア･ケーブル）のことを指します。本商品の接続には UTP ケーブルを使用してください。
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1 のことです。
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版のことです。
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版のことです。
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版のことです。

※本書では、複数の OS を「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

●イラスト / 画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

導入ガイド

本商品をネットワークに接続して、画像を見られるようにするために必要な作業と、本書の参照箇所を説明しています。このガイドに沿って作業を進めてください。

1 本商品のご紹介（→ P.11）
本商品をご使用になる前に、本商品の特長や同梱物の一覧、各部名称の確認をします。

2 必要なものを準備します（→ P.17）
接続するネットワークにあわせて、ルータやハブなど必要な機器を準備してください。また、ルータのIPアドレスや、プロバイダのユーザID、パスワードなど、接続するネットワークの設定を確認しておいてください。

3 本商品をネットワークに接続します（→ P.21 ～ 23）
本商品の接続例を紹介しています。接続例にあわせて本商品をルータやモデムなどに接続して電源を入れます。

4 パソコンに「NCSetup」をインストールします（→ P.24）
本商品の基本設定を行うために、設定用のパソコンにユーティリティディスクから「NCSetup」をインストールしてください。

5 本商品の基本設定をします（→ P.26）
本商品の基本設定をします。ご自分の接続例にあった説明をご覧ください。

6 パソコンに「NCView A」をインストールします（→ P.33）
本商品の画像を見るための「NCView A」を、設定用パソコンにインストールしてください。

7 画像が見られるか確認します（→ P.37）
「NCView A」にカメラを登録し、画像が見られるか確認してください。

8 無線 LAN の設定をします（→ P.39）
本商品を無線 LAN ネットワークで使用する場合の設定をします。

9 撮影したい場所に本商品を設置します（→P.42）
ネットワーク上から画像が見られることが確認できたら、本商品を撮影したい場所に設置してください。

10 インターネット経由で画像を見てみます（→P.43）
ルータの設定を行って、インターネット経由で本商品の画像を見られるようにします。設定が完了したら、「NCView A」で画像を見てみます。



手順8までが完了すると、本商品の設定を行ったユーザ（所有者）が画像を見られるようになります。ネットワークに接続している他のユーザが本商品の画像を見るには、本商品に接続できるようにユーザ登録をする必要があります。詳しくは、ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「カメラに接続できるユーザを制限する〈ユーザ管理〉」をご覧ください。また、各ユーザはパソコンに「NCView S」をインストールしてカメラを登録する必要があります。詳しくは、弊社ホームページより「お使いの手引き」をダウンロードしていただき、ご覧ください。

お願い

・本商品の利用方法によっては、本商品と接続する他のネットワーク機器（ルータ、モデムなど）の設定変更が必要な場合があります。各機器の取扱説明書を確認して、設定を行ってください。
・本書では、Windows XPを例に説明しています。ご使用のOSや機器によって、画面や手順が異なることがあります。
・接続、設定が正しくできないときは、ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「PART4 トラブルや疑問があったら」をご覧ください。
・本書の手順で紹介している例の画像は一例です。実際のカメラにはお客様が設置した環境の画像が表示されます。

付属マニュアルのご紹介

本商品には、次のマニュアルが付属しています。各マニュアルをよくお読みになり、本商品を正しくお使いください。

- **取扱説明書（本書）**
  安全にお使いいただくためのご注意や、付属品の内容、各部の名称と役割、サポートに関する情報などを説明しています。本商品をお使いになる前に必ずお読みになり、正しくお使いください。
- **詳細設定ガイド（PDF ファイル：ユーティリティディスクに収録）**
  所有者用の詳細設定ガイドです。「NCView A」の詳細な機能説明や、Web ブラウザでの設定方法、トラブルシューティングなどを説明しています。ユーティリティディスクに収納されています。
- **お使いの手引き（PDF ファイル：ユーティリティディスクに収録）**
  画像閲覧用ソフトウェア「NCView S」のインストール方法、使い方、トラブルシューティングを説明しています。「お使いの手引き」は弊社のホームページからダウンロードすることができます。必要に応じて、各ユーザに配布してご利用ください。

目　次

PART 1

本商品のご紹介

本商品の特長

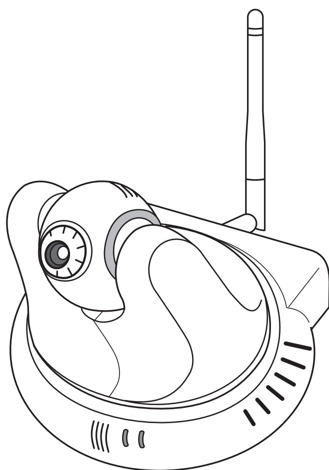
本商品は、無線LAN接続するタイプのネットワークカメラです。パン＆チルト（首振り）機能を搭載したことにより、広範囲な撮影が可能となりました。また、カメラのみでの映像配信が可能で、ホームセキュリティ、赤ちゃん、ペットの観察、遠隔地の状況把握等のさまざまなシーンにお使いいただけます。

■特長

・ネットワークに対応。カメラのみでの映像配信可能。
・パン＆チルト（首振り）機能を搭載し、より広範囲な撮影が可能。
・無線LAN規格は、IEEE802.11g/bに対応。
・無線LANセキュリティにはWEP（64bit/128bit）とWPA-PSK（TKIP）をサポート。
・「NCSetup」のウィザード形式による簡単セットアップ。
・「NCView」によるモニタリング機能に加え、録画やモーション感知、カメラスキャンを搭載。
・ネットワークへの配信用として、最大64件のアクセスID、パスワードの登録が可能。
・撮影した画像をE-mailで送信、FTPサーバにアップロード可能。
・携帯電話からの画像の閲覧が可能（静止画像のみ）。
・別売りの接写レンズ（CG-NCLENSC）、広角レンズ（CG-NCLENSW）が使用可能。
・別売りのPoEアダプタ（CG-POEADP2）に対応。

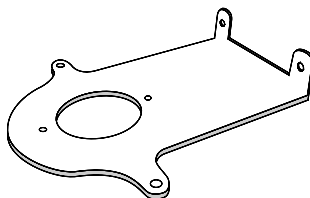
同梱品一覧

本商品をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることを確認してください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいたご購入元までご連絡ください。

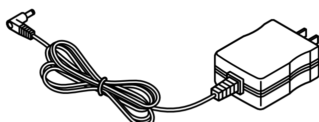


□ CG-WLNCPTG 本体
□アンテナ

※工場出荷時にはアンテナは取り付けられておりませんのでご注意ください。



□壁掛用マウンタ



□専用 AC アダプタ



□ユーティリティディスク

□ LAN ケーブル（ストレート／ 1m）
□壁掛マウンタ用ネジ（4 個）
□壁掛マウンタ用アンカ（2 個）
□取扱説明書（本書）
□製品保証書
□出張サポート案内

各部機能と名称

●前面

①カメラレンズ

カメラレンズが向いている方向の画像を撮ることができます。レンズは横方向と縦方向に回転させることができます。操作方法はユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「PART1 NCView A でカメラを操作する」をご覧ください。

② Power LED（緑）

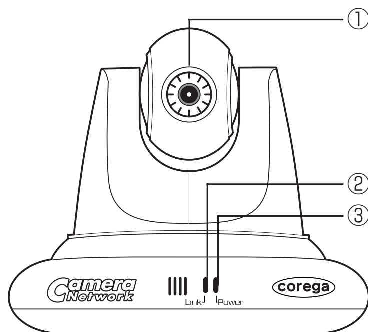
電源が入っているときに点灯します。

③ Link/Act LED（緑）

接続している通信機器との接続状態が表示されます。

点灯：接続先の機器と、リンクが確立されている状態です。

点滅：接続先の機器とデータ通信中です。



●背面

① DC ジャック

付属の専用ACアダプタを接続するためのコネクタです。

② Init スイッチ

本商品の設定内容を工場出荷時に戻す場合に使用します。操作方法はユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「PART1 NCView A でカメラを操作する」をご覧ください。

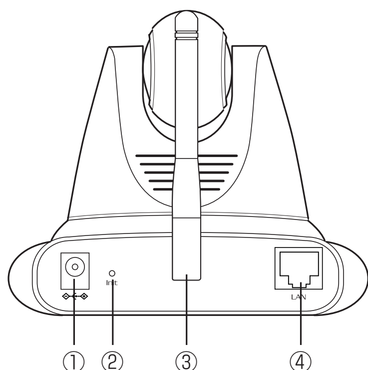
③アンテナ

電波の送受信部です。無線接続する場合は立ててください。別売のオプショナルアンテナを接続することもできます。

※工場出荷時ではアンテナは取り外されています。ご使用の場合には、同梱のアンテナを取り付けてお使いください。

④ LAN ポート

パソコンやルータを接続するためのポートです。10Mbps/100Mbps の切り替えはオートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。また、Auto MDI／MDI-X機能により、LANケーブルの種類（ストレート／クロス）を自動で識別します。



●底面

①ゴム足

合計４箇所付いています。

②壁掛マウンタ用ネジ穴

カメラに壁掛マウンタを取り付ける場合は、ゴム足を外し、ここに取り付けてください。合計２箇所付いています。

③警告ラベル

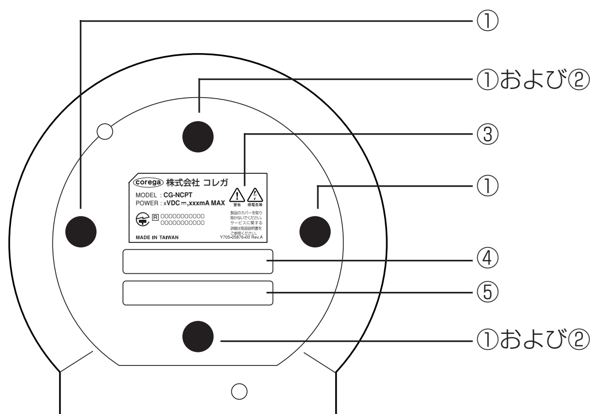
本商品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

④ MAC アドレス

本商品の MAC アドレスが記載されています。

⑤シリアル番号ラベル

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、弊社サポートセンタへの問い合わせの場合に必要となります。



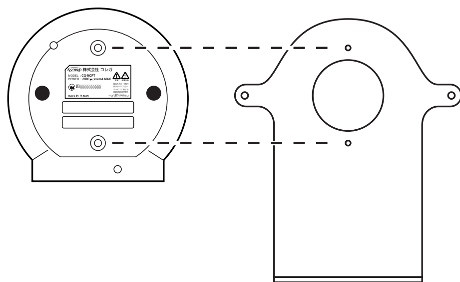
■壁掛用マウンタの取り付け方法

付属の壁掛用マウンタを使用すると､本商品を壁などの垂直な面に取り付けることができます。壁掛用マウンタを取り付けるには、次の手順で行ってください。

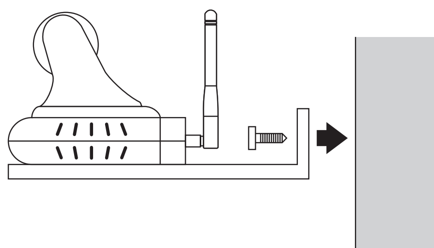


- **LANケーブルと専用ACアダプタのコネクタが本商品に無理なく接続できる位置に取り付けてください。**
- **使用中に本体表面のLEDの状態が確認できる位置に取り付けてください。**

1　本体底面のゴム足を外し､図のように本体のネジ穴とマウンタのネジ穴を合わせ､ネジで固定します。



2　取り付けたい壁などに対し、マウンタのネジ穴を、ネジ頭が約 5mm 残るようにして､付属のネジを壁等に取り付けます。取り付け場所は壁に限らず､天井などにも取り付けることができますので、お使いの環境に合わせて取り付けてください。





石膏ボード、ベニヤなど中空になっている壁で、ネジが取り付けづらい場合は、付属の壁掛けキットのプラスチックアンカ（2本）を併用します。ネジを取り付ける位置に､きりやドリルなどで穴を開けておき､プラスチックアンカをかなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます｡穴はプラスチックアンカがやっと入る程度の大きさにしてください｡穴が大きすぎるとがたつきの原因となります。

本商品の使用例

本商品を使用すると、撮影した画像を離れた場所からネットワークで見ることができます。カメラをネットワークに直接接続できるため、パソコンを経由しなくても、離れた場所から撮影した画像を見ることができます。



●その他の使用例

・家、会社などの防犯に
・ライブ映像の動画配信に
・遠隔地の状況把握に

PART 2

ご使用になる前に

必要なものを準備する

接続するネットワークにあわせて、ルータやハブなど必要な機器を準備してください。

■次の条件を満たすパソコン

「NCSetup」や「NCView A」をご使用になる前にあらかじめパソコンが、ネットワークに接続できるよう設定をしておいてください。

項目	条　件
CPU	PentiumIII 450MHz 以上
メモリ	128M バイト（推奨：256M バイト以上）
解像度	800 × 600 ドット以上
OS	Windows 98 SE/Me/2000/XP のいずれかがインストールされていること
ネットワーク	10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したLANポートがあること
プロトコル	TCP/IPがインストールされていること(特別な理由で削除していない限り、標準でインストールされています)
Web ブラウザ	Internet Explorer 5.5 以上がインストールされていること



Web ブラウザから画像（動画）を見るには、Java Plug-in 1.3.1_0（Java 2 Runtime Environment, Standard Edition（JAE））以上が必要です。Web ブラウザから画像を見る方法は、ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「PART2 Web ブラウザでカメラの画像を見る」をご覧ください。

■LANケーブル

カテゴリ５のLANケーブルをご用意ください。付属のLANケーブルで長さが足りない場合は、本商品の設置場所にあわせて、十分な長さのLAN ケーブルを準備してください。



LAN ケーブルはコレガ製品をお勧めいたします。

■ルータ、ハブなど

ネットワーク構成にあわせて、必要なものを準備してください。本商品の接続、設定には次のような情報が必要となりますので、接続するネットワークの設定を確認して控えておいてください。また、本商品のIPアドレスも決めておいてください。

・ルータ（LAN側）、設定用パソコンのIPアドレス
・サブネットマスク、DNSサーバのアドレス
・インターネット接続用のユーザ名、パスワード（フレッツ・ADSLなどでモデムに直接接続する場合）

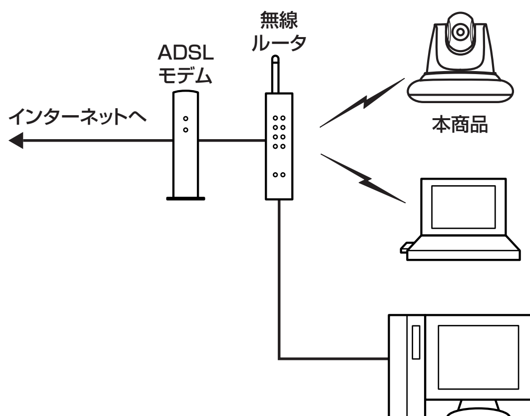
本商品の接続例

本商品を接続してネットワーク上から画像を見るには、次のような方法があります。ご自分のネットワーク環境に合った接続方法を選んでください。



次に示す図は一例です。実際にネットワークに本商品を接続する場合、図とは異なる場合があります。

■接続例1…ルータを使ってインターネットに接続する

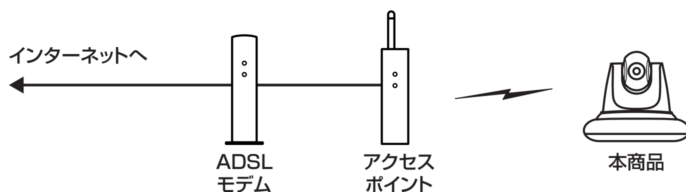


ルータを使ってインターネットに接続します。本商品はルータに接続します。インターネット上から本商品の画像を見る場合は、ルータでの設定が必要です。ルータ機能付きのモデムを使用している場合は、ルータの代わりに、ハブを使用して、同じように接続することもできます。



まず、ルータまたはハブと有線接続して（P.21）本商品の設定をしてください。設定が完了してから、ルータまたはアクセスポイントと無線接続してください。

■接続例2…モデムおよびアクセスポイントを使ってインターネットに接続する

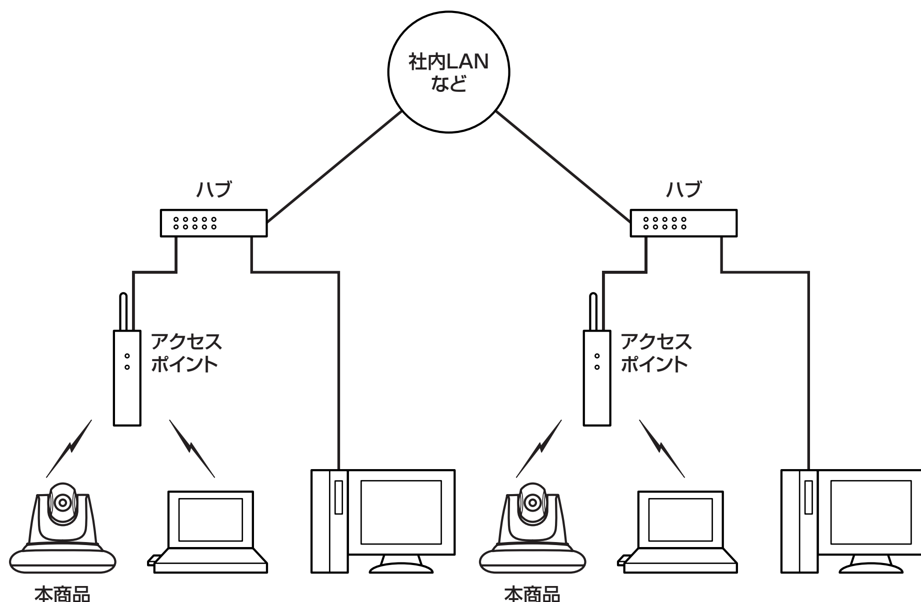


直接もしくはアクセスポイントを経由して、モデムと本商品を接続します。インターネット上から本商品の画像を見る場合は、本商品での設定が必要です。



まず、パソコンと直接有線接続して（P.23）本商品の設定をしてください。設定が完了してから、アクセスポイントと無線接続してください。

■接続例3…ハブを使って社内LANなどに接続する



社内LANなど、LAN内のみで本商品を使用する場合（インターネットに接続しない場合）は、本商品はハブやアクセスポイントに接続します。



まず、ハブと有線接続して（P.21）本商品の設定をしてください。設定が完了してから、アクセスポイントと無線接続してください。

2

■接続例4…本商品とパソコンを無線で直接接続する



本商品とパソコンを無線で直接接続して画像を見ることもできます。この場合は、本商品とパソコンをアドホックモードで接続してください。



- まず、パソコンと直接有線接続して（P.23）本商品の設定をしていただき、設定が完了してから無線接続にしてください。
- アドホックモードについては、ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「無線の設定をする」をご覧ください。

PART 3

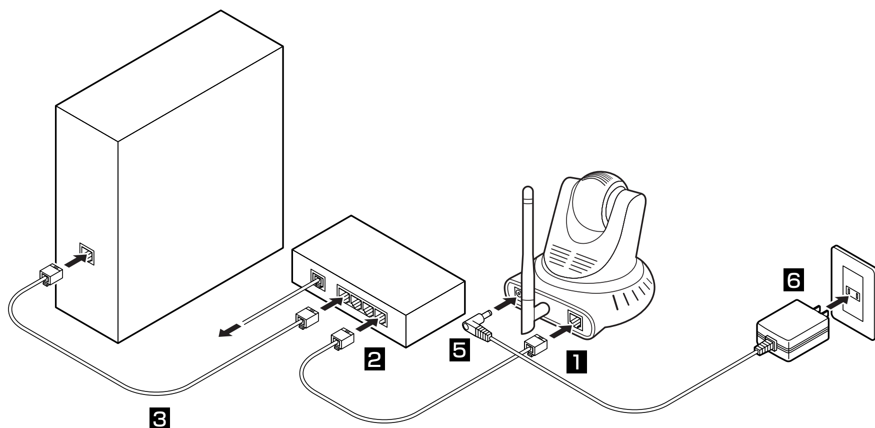
本商品をネットワークに接続する

本商品をネットワークに接続します。お使いになるネットワーク環境に合わせて接続してください。



- 本商品を無線 LAN で利用する場合も、最初の設定は有線接続で行ってください。
- 接続を始める前に、本商品とネットワーク接続する機器（ルータ、パソコンなど）の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いておいてください。
- 電源はたこ足配線にしないでください。
- 必ず、付属の AC アダプタを使用し、AC100V の電源コンセントに接続してください。
- 本商品には、電源スイッチがありません。AC アダプタの AC プラグを電源コンセントに接続した時点で電源が入ります。AC プラグを電源コンセントから抜くと、電源が切れます。
- AC アダプタの AC プラグを電源コンセントに差し込んだまま、DC プラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

本商品をルータまたはハブに接続する場合



1　LAN ケーブルのコネクタを、本商品背面の LAN ポートに接続します。

2　LANケーブルのもう一方のコネクタを、ルータまたはハブのLANポートに接続します。

3　設定用のパソコンをルータまたはハブに接続します。

4　ルータまたはハブとパソコンの電源を入れます。

5　ACアダプタのDCコネクタを、本商品背面のDCジャックに接続します。

6　ACアダプタのACプラグを、電源コンセントに接続します。



設定が完了したら、手順1、2で接続したLANケーブルを外して無線接続にしてください。

本商品をモデムに接続する場合



- **本商品をモデムに接続する場合は、先に本商品とパソコンを付属のLANケーブルを使用して接続し、設定を行ってください。**
- **設定が完了するまで、無線接続をしないでください。**

●有線接続

1　LANケーブルのコネクタを、本商品背面のLANポートに接続します。

2　LANケーブルのもう一方のコネクタを、モデムのLANポートに接続します。

3　モデムの電源を入れます。

4　本商品のACアダプタのDCコネクタを、本商品背面のDCジャックに接続します。

5　本商品のACアダプタのACプラグを、電源コンセントに接続します。

●無線接続

1　LANケーブルのコネクタをアクセスポイントのLANポートに接続します。

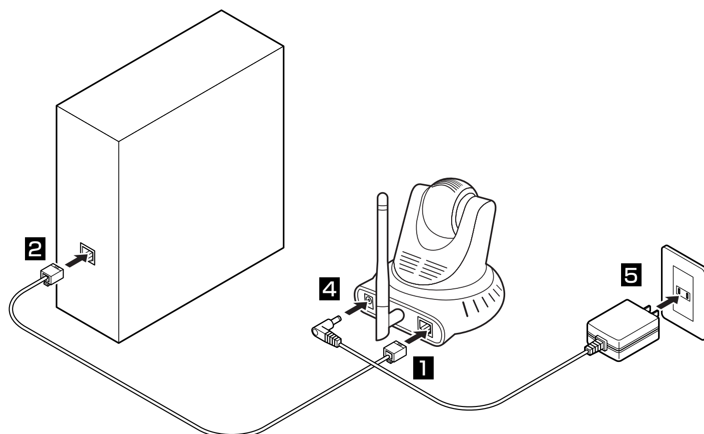
2　LANケーブルのもう一方のコネクタをモデムのLANポートに接続します。

3　モデムとアクセスポイントの電源を入れます。

4　本商品のACアダプタのDCコネクタを、本商品背面のDCジャックに接続します。

5　本商品のACアダプタのACプラグを、電源コンセントに接続します。

本商品をパソコンに直接接続する場合



1　LAN ケーブルのコネクタを、本商品背面の LAN ポートに接続します。

2　LAN ケーブルのもう一方のコネクタを、パソコンの LAN ポートに接続します。

3　パソコンの電源を入れます。

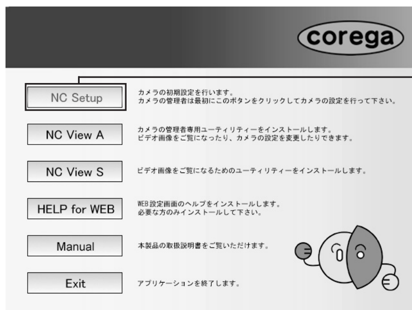
4　AC アダプタの DC コネクタを、本商品背面の DC ジャックに接続します。

5　AC アダプタの AC プラグを、電源コンセントに接続します。

「NCSetup」をインストールする

本商品の基本設定を行うためのソフトウェア「NCSetup」を、設定に使用するパソコンにインストールします。

1　パソコンのCD-ROMドライブに、ユーティリティディスクをセットします。セットすると次のような画面が表示されますので、［NCSetup］をクリックします。

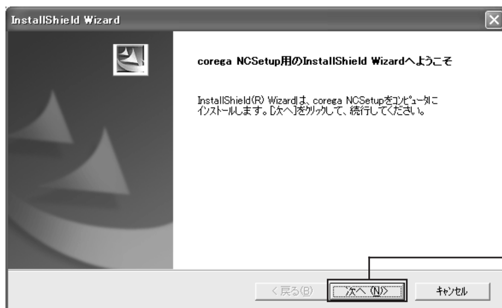


クリックします。



しばらく待っても上の画面が表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

2　「InstallShield Wizard」画面が表示されますので、［次へ］をクリックします。



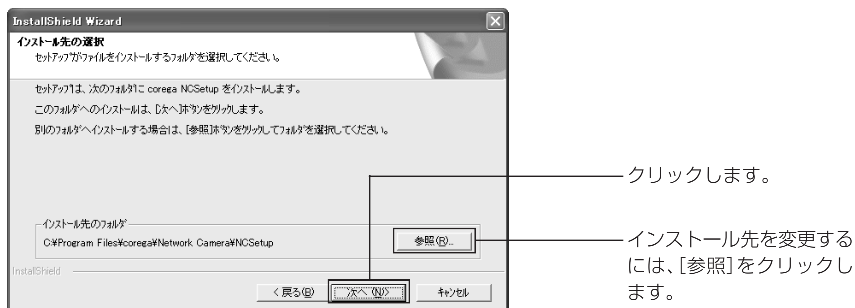
クリックします。

3　「使用許諾契約」の画面が表示されますので、［はい］をクリックします。



クリックします。

4　「インストール先の選択」画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。ここで「NCSetup」のインストール先を変更したい場合は、[参照] をクリックしてインストール先を変更してください（通常は変更の必要はありません)。



5　「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。



以上で「NCSetup」のインストールは完了です。続けて「本商品の基本設定をする」(P.26) にお進みいただき、本商品の基本設定を行ってください。



- 本商品を初めて設定する場合、本商品と設定用パソコンだけを接続して設定してください。
- 「NCSetup」を使って本商品を設定する場合、パソコンのIPアドレスを変更する必要があります。パソコンの IP アドレスの設定方法については、ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「パソコンのIPアドレスを設定したい」をご覧ください。

3

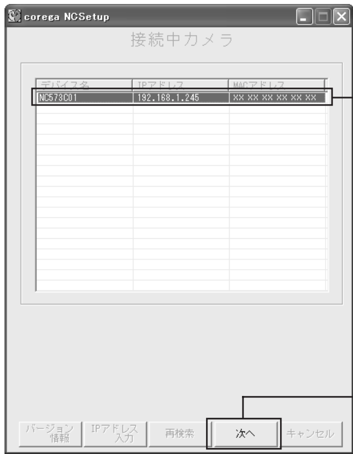
本商品の基本設定をする

「NCSetup」を起動して、本商品の基本設定をしてください。設定するにあたっては、接続するネットワーク構成にあった説明をご覧ください。また、本書ではネットワークの設定を次のようにするものとして説明します。

IPアドレス		
	ルータ（LAN側）	192.168.1.1
	パソコン	192.168.1.3
	本商品	192.168.1.245
サブネットマスク		255.255.255.0
ゲートウェイ		192.168.1.1
優先DNSサーバ		192.168.1.1
代替DNSサーバ		0.0.0.0
インターネット接続用のユーザ名		myname@isp.ne.jp
インターネット接続用のパスワード		password02
通信モード		Infrastructure
ESSID		corega
WEP（暗号キー）		128bit
チャンネル		6

1　インストール直後は自動で起動しますが、起動しない場合や新しく設定する場合は、「スタート」－「すべてのプログラム」－「corega Network Camera」－「NC Setup」－「corega NCSetup」をクリックします。

2　カメラの検索が終わると、次のような「接続中カメラ」画面が表示されます。設定を行いたいカメラを選択し、［次へ］をクリックします。



設定したいカメラがどれにあたるかは、デバイス名やMACアドレスをもとに探してください。本商品のデバイス名は、工場出荷時には、次のように設定されています。
「NC○○○○○○」
○の部分には、MACアドレスの下6桁が入ります。本商品のMACアドレスは、背面のMACアドレスラベルに記載されています。

クリックします。



- **本商品が表示されないときは、[再検索] をクリックして、検索しなおしてください。それでも表示されないときは、[IPアドレス入力] をクリックして本商品の工場出荷時のIPアドレス（192.168.1.245）を直接入力してください。**
- **本商品が自動検索されても本商品のIPアドレスと設定用のパソコンのIPアドレスが同一ネットワーク上にない場合は、IPアドレス変更の画面が表示されます。パソコンと同一ネットワークになるよう、本商品のIPアドレスを変更してください。**

3　本商品の名前を入力して、［次へ］をクリックします。

corega NCSetup

デバイス名

デバイス名:

NC573C01

本製品のデバイス名(カメラ名)を設定します。
半角英数・半角記号で32文字以内で入力してください。

戻る　次へ　キャンセル

本商品に任意の名前をつけます。設置場所や被写体など分かりやすい名前をつけてください。製品名を入力する必要はありません。最大入力文字数は半角英数字、記号で32文字までです。

クリックします。

4　所有者用のログイン名とパスワードを入力して、［次へ］をクリックします。

corega NCSetup

ログイン設定

ログイン名:

新しいパスワード:

パスワードの確認:

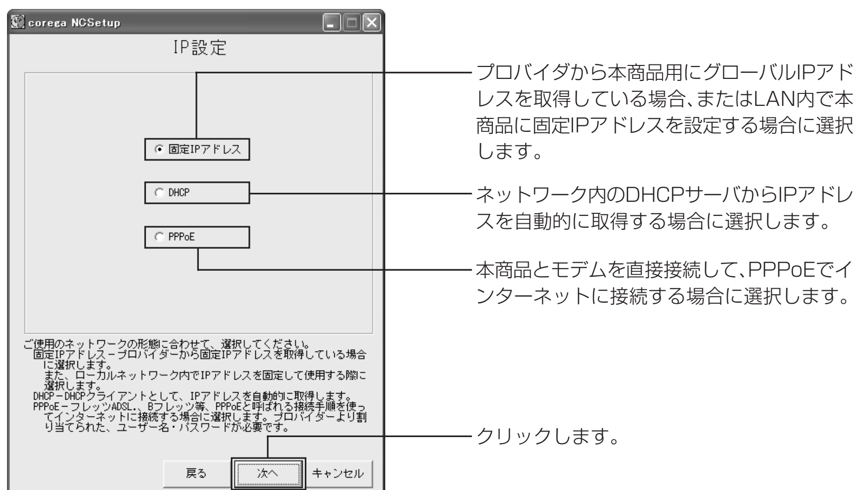
本製品の詳細設定(WEB設定)にアクセスする際のログイン名とパスワードを設定します。
ログイン名、パスワードともに半角英数字のみで入力してください。
ログイン名：12文字以内
パスワード：8文字以内

戻る　次へ　キャンセル

所有者以外のユーザが、本商品の設定内容を変更できないようにするため、本商品の所有者のログイン名、パスワードの設定をします。ログイン名は半角英数字で12文字以内、パスワードは半角英数字で8文字以内で入力してください。[スペース]、”、’、#、&、%、=、+、?、<、>、:は使えません。

クリックします。

5　本商品のIPアドレスをどの取得方法にするかを選択し、[次へ] をクリックします。



PART2の「本商品の接続例」（P.18）の各接続例では、それぞれ次のようになります。

接続例1 ルータを使ってインターネットに接続する	LAN内で本商品に固定IPアドレスを設定する	固定IPアドレス
	プロバイダから本商品用にグローバルIPアドレスを取得している	
	ルータのDHCP機能を使用してIPアドレスを設定する	DHCP
接続例2 モデムおよびアクセスポイントを使ってインターネットに接続する	フレッツ・ADSL、Bフレッツなど、PPPoEでインターネットに接続する	PPPoE
	Yahoo! BBなど、DHCPでインターネットに接続する	DHCP
接続例3 ハブを使って社内LANなどに接続する	LAN内で本商品に固定IPアドレスを設定する	固定IPアドレス
	DHCPサーバを利用してIPアドレスを設定する	DHCP
接続例4 本商品とパソコンを無線で直接接続する	本商品に固定IPアドレスを設定する	固定IPアドレス

6　手順5で選択した項目によって表示される画面が異なります。接続するネットワークに合わせて必要事項を入力し、[次へ] をクリックします。

〈固定 IP アドレスを選択した場合〉

corega NCSetup

固定IPアドレス

固定IPアドレス

IPアドレス: 192.168.1.245

サブネットマスク: 255.255.255.0

ゲートウェイ: 0.0.0.0

DNSサーバーアドレス

優先DNSサーバー 0.0.0.0

代替DNSサーバー 0.0.0.0

ご使用のネットワークに合わせてIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSアドレスの値を入力してください。

戻る　次へ　キャンセル

下の表を参考に、必要事項を入力します。

クリックします。

項　目	入力例	説明
IP アドレス	192.168.1.245	本商品の IP アドレスを入力します。工場出荷時には「192.168.1.245」が設定されています。
サブネットマスク	255.255.255.0	接続するネットワークのサブネットマスクのアドレスを入力します。
ゲートウェイ	192.168.1.1	接続するネットワークのゲートウェイのアドレスを入力します。ルータを使用してインターネットに接続する場合は、プロバイダが指定するゲートウェイではなく、ご使用のルータのIPアドレス（LAN側）を設定してください。
優先 DNS サーバ	192.168.1.1	LAN 内にルータなどの DNS サーバが設置されている場合、またはプロバイダから DNS サーバのアドレスを提供されている場合にアドレスを入力します。ルータを使用してインターネットに接続する場合は、ルータのIPアドレス（LAN側）を設定してください。
代替 DNS サーバ	0.0.0.0	



- 本商品のIPアドレスは、ルータと同じネットワークアドレスを設定する必要があります。設定についてはお使いのルータの取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク内で IP アドレスが重複しないようにしてください。

3

〈DHCP を選択した場合〉

corega NCSetup

DHCP

DNSサーバーアドレス

自動取得

固定取得

優先DNSサーバー

0.0.0.0

代替DNSサーバー

0.0.0.0

DHCPクライアントとして、IPアドレスを自動的に取得します。
また、特定のDNSアドレスを指定する場合は、固定取得を選択しDNSアドレスを入力して下さい。

戻る　次へ　キャンセル

DNSサーバのアドレスを、プロバイダなどから自動取得する場合は、こちらを選択します。

LAN内にDNSサーバが設置されている場合、またはプロバイダからDNSサーバのアドレスを提供されている場合はこちらを選択し、アドレスを入力します。

クリックします。



- **ルータを利用するときは、本商品に常に同じIPアドレスが割り当てられるよう、ルータの設定も必要です。設定についてはお使いのルータの取扱説明書をご覧ください。**
- **本商品の IP アドレスは、固定にしておくほうが運用上便利です。**
- **ネットワーク内で IP アドレスが重複しないようにしてください。**

〈PPPoE を選択した場合〉

corega NCSetup

PPPoE

PPPoE

ユーザー名:

パスワード:

DNSサーバーアドレス

自動取得

固定取得

優先DNSサーバー

0.0.0.0

代替DNSサーバー

0.0.0.0

プロバイダーから割り当てられたユーザー名/パスワードを入力してください。
DNSを固定取得する場合は、DNSサーバーアドレスを入力してください。

戻る　次へ　キャンセル

プロバイダから指定されたインターネット接続用のユーザ名(プロバイダによって呼び方が異なる場合があります)を入力します。

プロバイダから指定されたインターネット接続用のパスワードを入力します。

DNSサーバのアドレスを、プロバイダから自動取得する場合は、こちらを選択します。

プロバイダからDNSサーバのアドレスを提供されている場合はこちらを選択し、アドレスを入力します。

クリックします。



パスワードは画面上では「*」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。

7　必要な設定を行い、［次へ］をクリックします。

corega NCSetup

その他

ダイナミックDNS
有効　無効
DDNSサービス　Dyn DNS
ドメイン名
ユーザー名
パスワード

LEDコントロール
通常　消灯　ダミー

セカンドポート
有効　無効
セカンドポート番号　0

ダイナミックDNS－ダイナミックDNSの設定を行います。あらかじめ、本製品がサポートするダイナミックDNSへの登録が必要です。
注：ご使用のルーターにダイナミックDNS機能がある場合は、本製品ではなくルーターにダイナミックDNSの設定を行って下さい。（本製品のDDNS機能は無効に設定してください。）

セカンドポート－80番ポート以外の任意のポート(1024～65534)を設定することで、そのポートを使用して本製品にアクセスすることができます。
注：本製品をルーター下でインターネットに公開する場合は、ルーターにポート設定が必要です。

戻る　次へ　キャンセル

インターネット上から本商品の画像を見られるようにするには、下の表を参考に、接続例に応じて設定します。

本商品のPower LEDとLink LEDを使用する場合は「通常」、使用しない場合は「消灯」、ダミーモードにする場合は「ダミー」を選択します。

常に開かれているポート番号(80)とは別に、セカンドポート番号を使用する場合は、「有効」を選択し、セカンドポート番号を入力します。

クリックします。

●ダイナミック DNS の設定



- **あらかじめダイナミックDNSサイトでサービスに登録手続きを行う必要があります。なお、ダイナミックDNSサイトへの登録は、お客様の自己責任で行ってください。登録に関して弊社では一切責任を負いませんので、ご了承ください。**
- **本商品で利用できるダイナミックDNSサイトは、「Dyn DNS」（無料）、「Ivy Network」（有料）、「@Net DDNS」（有料）の3つのみです。他のダイナミックDNSサイトはご利用できません。**

接続例 1…ルータを使用してインターネットに接続する場合		
ルータ側で設定しますので、「無効」を選択してください。		
接続例 2…モデムに直接接続してインターネットに接続する場合		
項目	入力例	説明
ダイナミックDNS サービス	－	登録したダイナミック DNS サイトを選択します。
ドメイン名	core-net.server.cc	ダイナミックDNS サイトで登録したドメイン名を設定します。入力できる文字数は64文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、:は使えません。
ユーザー名	corega	ダイナミック DNS サイトで登録したユーザ名を設定します。入力できる文字数は 64 文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。
パスワード	password xx	ダイナミック DNS サイトで登録したパスワードを設定します。



ダイナミックDNS、LEDコントロール、セカンドポートの設定について詳しくは、ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「URLを指定して画像を見る（DDNSの設定）〈システム設定〉」、「LEDの設定をする〈システム設定〉」、「ポートの設定をする〈システム設定〉」をご覧ください。

8　しばらくすると、画像が表示されます。必要に応じて、解像度や明るさなどの設定を行い、［完了］をクリックします。



※画像はイメージです

項目	説明
解像度	画像のサイズ（解像度）を設定します。単位はドット数で、横×縦です。
圧縮率	画像データの圧縮率を５段階に設定できます。「Very Low」を選ぶと画像の品質が上がり、ネットワークへの負荷が増えます。
フレーム	本商品から送信される画像の毎秒あたりの送信フレーム数（何回画面を書き換えることができるか）の上限を設定します。数値が大きくなるほど画像が滑らかになり、ネットワークへの負荷が増えます。
電源周波数	本商品を利用する地域の電源周波数（50Hz：東日本／60Hz：西日本）を設定します。
明るさ	画像の明るさを設定します。数値を大きくすると明るさが増します。
コントラスト	画像のコントラストの調整をします。数値を大きくすると最も明るい部分と暗い部分の差が大きくなります。
色彩	画像の彩度を設定します。数値を大きくすると鮮やかになります。

9　設定が終了したら、設定用パソコンのIPアドレスの設定を元に戻します。

以上で、本商品の基本設定は完了です。

PART 4

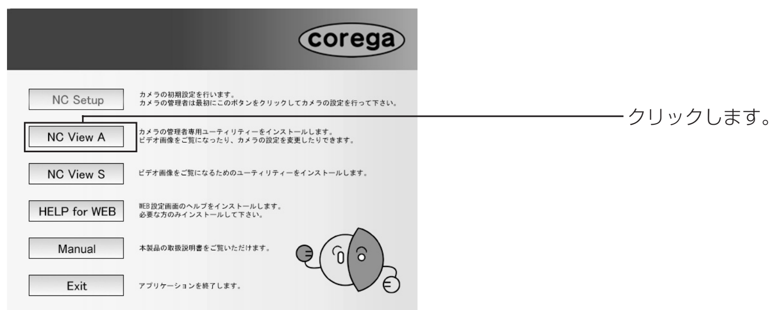
本商品を使用する

本商品を使用して画像や動画を見るには、閲覧用ソフトウェア「NCView A」をインストールする必要があります。

「NCView A」をインストールする

ここでは「NCView A」をお使いのパソコンにインストールする手順をご紹介します。

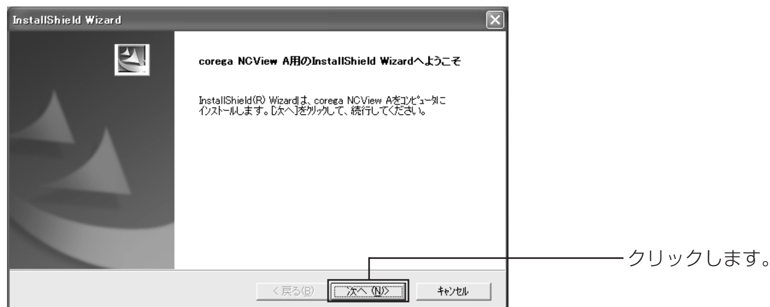
1　パソコンのCD-ROMドライブに、ユーティリティディスクをセットします。セットすると次のような画面が表示されますので、［NCView A］をクリックします。





しばらく待っても上の画面が表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

2　「InstallShield Wizard」画面が表示されますので、［次へ］をクリックします。



3　「使用許諾契約」の画面が表示されますので、[はい] をクリックします。



クリックします。

4　「インストール先の選択」画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。ここで「NCView A」のインストール先を変更したい場合は、[参照] をクリックしてインストール先を変更してください（通常は変更の必要はありません）。



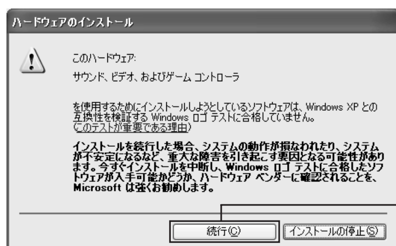
クリックします。

インストール先を変更するには、[参照] をクリックします。

5　「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。



インストールの作業中に下の画面が表示された場合、[続行] をクリックしてインストール作業を続行してください（弊社にて動作確認をしております）。



クリックします。

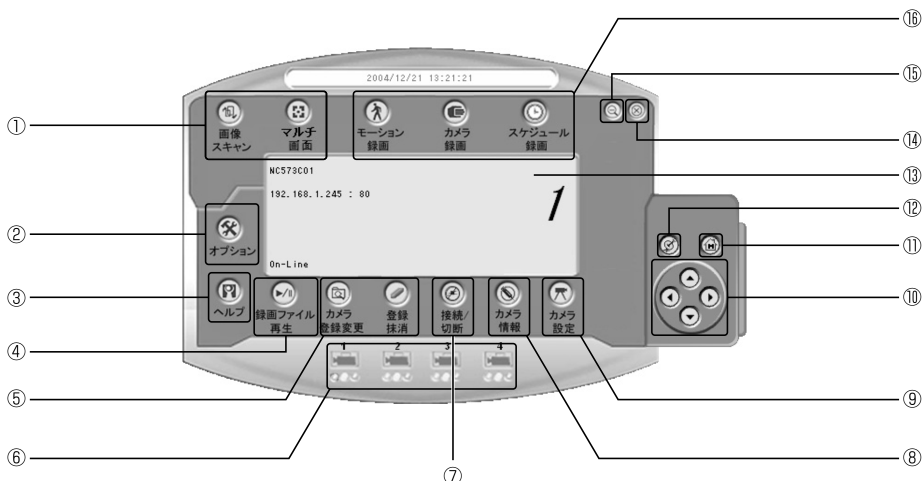
これで「NCView A」のインストールは完了です。

「NCView A」のメインウィンドウについて

「NCView A」では本商品の画像を見られるだけでなく、録画時の設定など、本商品の設定もできます。

■「NCView A」を起動する

1　[スタート]－「すべてのプログラム」－「corega Network Camera」－「NCView A」－「corega NCView A」をクリックすると、「NCView A」のメインウィンドウが表示されます。



項目	説明
①画像スキャン／マルチ画面	複数のカメラの画像を見るときに使用します。
②オプション	カメラの各種設定を行います。
③ヘルプ	ヘルプ / バージョン情報が表示されます。
④録画ファイル再生	録画ファイルを再生します。
⑤カメラ登録変更／登録抹消	登録してあるカメラの変更 / 削除を行います。
⑥カメラアイコン	カメラの登録、切り替えを行います。
⑦接続 / 切断	選択したカメラに接続 / 切断します。
⑧カメラ情報	選択したカメラのMACアドレス、ファームウェアバージョンなどの詳細情報が表示されます。

項目	説明
⑨カメラ設定	クリックするとメインウィンドウの右端に［モーション設定］、［詳細設定］、［ファーム更新］の３つのボタンが表示されます。各ボタンの使い方については、ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「PART1 NCView A でカメラを操作する」をご覧ください。
⑩カメラ移動	［Up］、［Down］、［Right］、［Left］の４つのボタンがあります。4つのボタンのいずれかをクリックすると、レンズの位置を動かすことができます。またボタンをクリックしたままにすると、クリックした分だけレンズの位置が移動します。
⑪ Home	クリックすると、レンズの位置が初期設定の値に戻ります。
⑫スキャン	クリックすると、レンズの位置が右から左へと移動し、元の位置に戻ります。
⑬表示画面	選択したカメラの情報（IP アドレス、デバイス名）や状態（On-Line/Off-Line）が表示されます。
⑭閉じるボタン	「NCView A」のメインウィンドウを閉じます。
⑮最小化ボタン	「NCView A」のメインウィンドウを最小化し、タスクバーに表示します。
⑯モーション録画 カメラ録画 スケジュール録画	カメラの画像を録画するときに使用します。



メインウィンドウの各ボタンの機能について、詳しくはユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「PART1 NCView A でカメラを操作する」をご覧ください。

■画像が見られるか確認する

「NCView A」に本商品を登録し、画像が見られるか確認してください。

1　「NCView A」のメインウィンドウで、登録したいカメラのアイコンをクリックします。例では 1 番のカメラを使用します。



2　ネットワークに接続されているカメラが検索され、しばらくすると一覧に表示されますので、登録したいカメラを選択し、［登録］をクリックします。

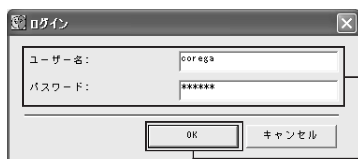




登録したいカメラが表示されないときは、[再検索] をクリックして、検索しなおしてください。それでも表示されないときは、[IPアドレス入力] をクリックして、P.28の手順5で設定したカメラのIPアドレスを直接入力してください。

4

3　P.27の手順4で設定した、ユーザ名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。



①設定したユーザー名とパスワードを入力します。

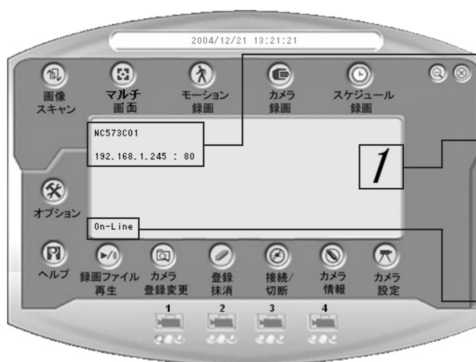
②[OK]をクリックします。

4　しばらくすると、登録したカメラの画像ウィンドウが表示されます。



※画像はイメージです。

5　メインウィンドウの表示が次のように変わります。



登録したカメラのデバイス名、IPアドレスが表示されます。

登録したカメラの番号です。

状態(On-Line＝接続中)が表示されます。



メインウィンドウ、画像ウィンドウの各ボタンの機能については、ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「PART1 NCView A でカメラを操作する」をご覧ください。

本商品を無線で接続する

本商品をアクセスポイントまたは無線ルータと無線接続します。本商品の無線設定は、Web ブラウザを使用して行います。



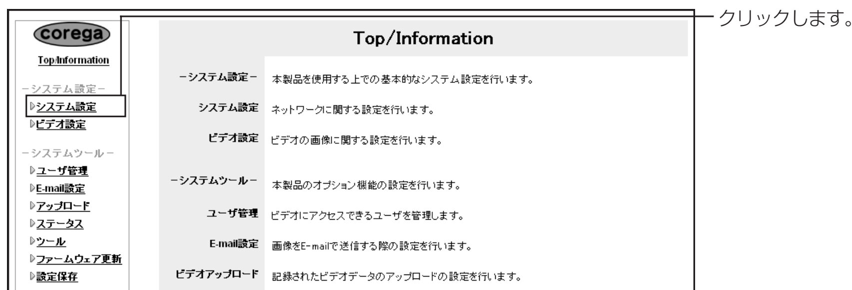
- **無線の設定も、無線で接続する前に有線接続で行ってください。LANケーブルは、設定が完了してから外してください。**
- **設定を始める前に、本商品と通信相手の機器が通信可能な距離の範囲内にあることを確認してください。本商品の最大通信距離は、動画（MPEG）の送信時50 m、静止画（JPEG）の送信時100mです（ただし、環境により異なります）。**

1　Webブラウザを起動し、アドレス欄に本商品のIPアドレスを入力し（例では工場出荷時の「192.168.1.245」を使用しています）、［移動］をクリックします。



2　「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。[Set up] をクリックします。

3　ログイン画面が表示されたら、P.27の手順4で設定した所有者のログイン名とパスワードを入力し、ログインします。ログインすると、本商品の設定画面が表示されますので、「システム設定」をクリックします。



4 「本商品の基本設定をする」(P.26)で説明した情報をもとに、「システム設定」画面の「ワイヤレス設定」で、次のように設定します。

ワイヤレス設定
通信モード : ◉インフラストラクチャモード ○アドホックモード
ESSID : corega
チャンネル : 6
暗号化 : ◉無効
○WEP
Length : ◉64bits ○128bits
Key 1 :
Key 2 :
Key 3 :
Key 4 :
デフォルトキー : Key 1
認証方式 : Auto
○ WPA-PSK(パーソナル)
共有キー: PSK12345

下の表を参考に設定します。

項目	入力例	説明
通信モード	−	アクセスポイントまたは無線ルータと通信するときはインフラストラクチャーモード、本商品とパソコンが直接通信するときはアドホックモードを選択します。
ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。アクセスポイントや無線ルータと同じESSIDを設定してください。ESSIDには、32文字以内の、半角英数文字および半角記号を使用できます。使用できる半角記号は、次の通りです。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { ¦ } .
チャンネル	6	使用する電波の周波数(無線チャンネル)です。1〜11の間で設定できます。アドホックモードで使用する場合は、使用する電波の周波数を設定します。無線LANアダプタと同じチャンネルを設定します。工場出荷時は「6」に設定されています。インフラストラクチャーモードで使用する場合はチャンネルを自動的に認識するので設定する必要はありません。
暗号化	−	通信内容を暗号化するWEPまたはWPA-PSK(パーソナル)を利用するかどうかを選択します。アクセスポイントや無線ルータと同じに設定します。 「OFF」を選択すると、通信内容は暗号化されません。 「WEP」を選択すると、WEPを利使用します。 「WPA-PSK(パーソナル)」を選択すると、WPA-PSK(パーソナル)を使用します。 工場出荷時は、暗号化はされていません。

項目	入力例	説明
WEP	―	通信内容を暗号化するためのWEPキー（暗号キー）を設定します。アクセスポイントや無線ルータと同じ WEP キーを設定してください。 「64bits（64bit WEP）」と「128bits（128bit WEP）」が利用できます。Key1～Key4のそれぞれについて、次のようにWEPキーを入力します。 64bits…16進数（0～9、a～f）で10桁の数字を入力 例：0123456789 128bits…16進数（0～9、a～f）で26桁の数字を入力 例：01234567890123456789abcdef 入力する文字数に過不足がないように注意してください。文字数が少ないと、正常に接続できなくなる可能性があります。
デフォルトキー	―	Key1 ～ Key4 のうち、使用するキーを選択します。
認証方式	―	WEP の暗号化で使用する認証方式を選択します。認証方式には「Open System」と「Shared Key」の 2 種類があります。アクセスポイントや無線ルータと同じものを選択してください。通常は、工場出荷時の「Auto」（自動設定）を選択します。
WPA-PSK（パーソナル）	―	WPA-PSK（パーソナル）で使用する共有キーを入力します。アクセスポイントや無線ルータと同じに設定してください。半角の英数字（0 ～ 9、a ～ z）で 8 ～ 63 文字または、16 進数（0 ～ 9、a ～ f）で 8 ～ 64 文字を入力してください。



- **パソコン（特に無線 LAN 機能内蔵のノートパソコン）によっては、特定のチャンネルに対応していないものがあります。お使いのパソコンの仕様を確認して、別のチャンネルに変更してください。**
- **WPA-PSK の暗号化は TKIP のみの対応となります。**



お使いの無線 LAN 機器によっては、64bit WEP は 40 ビット、128bit WEP は 104 ビットと表記される場合があります。

5　[保存] をクリックします。クリックすると設定が変更され、本商品が再起動します。

6　設定画面を閉じ、「NCView A」を終了します。

7　本商品と、接続されている機器の電源を切り、設定用に接続していたLANケーブルを外します。

8　本商品と各機器の電源を入れ直して、「NCView A」を起動し、カメラの画像が表示されるか確認します。

4

撮影したい場所に本商品を設置する

画像が見られることが確認できたら、本商品を撮影したい場所に設置してください。



- **本商品をモデムに直接接続する場合は、LANケーブルで接続しなおしてから設置してください。**
- **本書冒頭の「安全にお使いいただくためにお読みください」をお読みになり、使用時の注意について確認してから設置してください。**

●設置に適した場所

- ・水平で落下の恐れがない場所
- ・風通しのよい涼しい場所

●設置に適さない場所

- ・直射日光が当たる場所
- ・暖房器具の近くなど
- ・高温多湿の場所
- ・ホコリの多い場所
- ・水や液体がかかる恐れのある場所
- ・パソコンやモデムなど、発熱する機器の上
- ・明るすぎたり、暗すぎたりする場所
  撮影した画像に白い線やノイズが入ったり、ピントが合わないことがあります。
- ・蛍光灯などの近く
  照明のちらつきが発生し、撮影した画像にノイズが入ることがあります。

●設置するときの注意

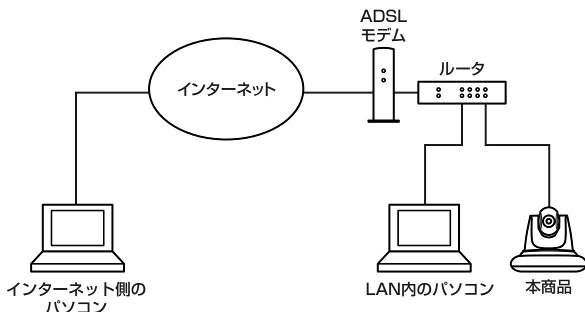
- ・本商品に、付属の壁掛用マウンタを取り付ける場合は、ネジをしっかり締めて固定してください。
- ・本商品を接続するLANケーブルは、接続に十分な長さを準備してください。
- ・LANケーブルやACアダプタのケーブルに、足を引っ掛けたりすることのないような場所に設置してください。

インターネット経由で画像を見るには

インターネット経由で本商品にアクセスするには、本商品に設定を行う必要があります。設定内容や設定手順は、ご使用のインターネット環境によって以下の 2 とおりの方法があります。

・ルータを使ってインターネットに接続する場合（本ページ）
・モデムおよびアクセスポイントを使ってインターネットに接続する場合（P.48）

■ルータを使ってインターネットに接続する場合



上記の図のようにルータを使用して本商品をインターネットに接続している場合、インターネット側から本商品にアクセスするにはルータのポートを開放する必要があります。ポートを開放するには次の 2 とおりの方法があります。ルータが UPnP に対応している場合は「UPnP を使用してポートを開放する」を、UPnP に対応していない場合は「UPnP を使用しないでポートを開放する（バーチャルサーバを使用する）」をご覧ください。

・UPnP を使用してポートを開放する（P.44）
・UPnP を使用しないでポートを開放する（バーチャルサーバを使用する）（P.47）



ルータを使用している場合でも、unnumberedサービスなどで本商品にグローバルIPアドレスを割り振っている場合には、UPnPやバーチャルサーバの設定の必要はありません。



弊社製品ではポート開放機能をバーチャルサーバと呼びますが、他社製品ではポートフォワーディング、静的IPマスカレード、ポートマッピングなどと呼ぶ場合もあります。詳細はご使用のルータの取扱説明書をご覧ください。

4

●UPnPを使用してポートを開放する

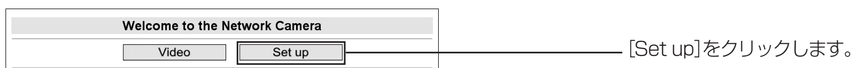
以下の手順で本商品とルータのUPnP設定を行い、ポートを開放します。

1　ルータの説明書をご覧いただき、ルータのUPnP機能を有効にします。弊社製ルータをご使用の場合、取扱説明書は弊社ホームページからダウンロードすることができます。

2　LAN内のパソコンからWebブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレスを入力し、[移動]をクリックします（例では工場出荷時の「192.168.1.245」を使用しています）。



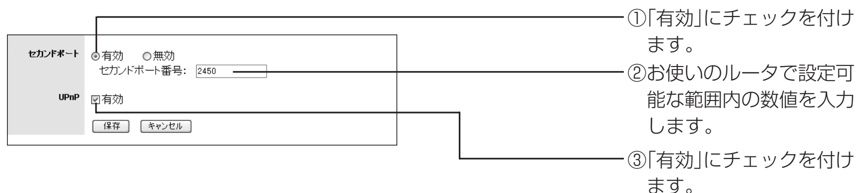
3　本商品のログイン画面が表示されたら、ログイン名とパスワードを入力してログインします。ログインすると「Welcome to the Network Camera」画面表示されますので、[Set up]をクリックします。



4　セットアップ画面の左側にある「システム設定」をクリックします。



5　右側の画面をスクロールし、「セカンドポート」項目の「有効」にチェックを付け、「セカンドポート番号」に80番以外の任意の数値を入力します。次に「UPnP」項目の「有効」にチェックを付けます。

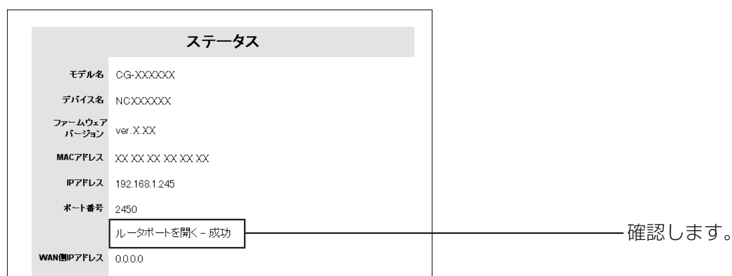




「セカンドポート番号」に設定できる数値は、ご使用のルータにより異なります。詳細はご使用のルータの説明書をご覧ください。

6　「保存」をクリックします。

7　「システムツール」－「ステータス」をクリックし、「ポート番号」項目で「ルータポートを開く－成功」と表示されていることを確認します。

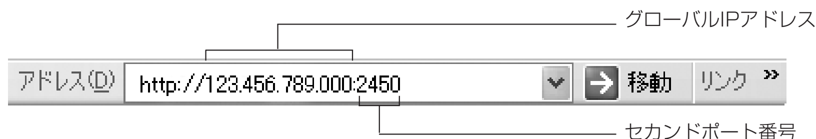




「ルータポートを開く－成功」と表示されない場合は、手順5のセカンドポート番号に他の数値を入力し、再度手順5の続きから設定を行ってください。

以上で、本商品とルータのUPnPの設定は完了です。

8　インターネット側から下記の図のようにアドレスを入力することで本商品にアクセスすることができます。

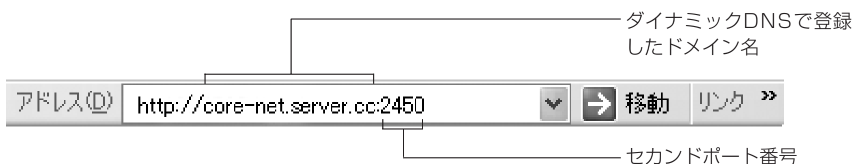




ご使用のルータによっては、ルータと同じLAN内のパソコンからWAN側のIPアドレス（グローバルIPアドレス）で本商品にアクセスできない場合があります。可能な限り別回線でインターネット側からご確認ください。別回線の用意が難しい場合は、携帯電話からアクセスすることができます。「詳細設定ガイド」の「本商品の画像を携帯電話で見る」をご覧ください。

9　ルータに割り振られるグローバルIPアドレスが動的に変わる環境（ADSLやCATVなど）の場合は、グローバルIPアドレスが変わるたびに本商品にアクセスするためのアドレスが変わってしまいます。そのような環境ではダイナミックDNSサービスをご使用になることをお勧めします。ルータがダイナミックDNSに対応している場合は、ルータのダイナミックDNSをご使用ください。詳細はご使用のルータの取扱説明書をご覧ください。ルータがダイナミックDNSに対応していない場合は、本商品のダイナミックDNSをご使用ください。ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「URLを指定して画像を見る（ダイナミックDNSの設定）」をご覧ください。

10　ダイナミックDNSを使用した場合は、以下の図のようにアドレスを入力することで本商品にアクセスすることができます。



●UPnPを使用しないでポートを開放する(バーチャルサーバを使用する)

以下の手順でルータのポートの開放と確認を行います。

1　ルータの取扱説明書をご覧いただき、ルータから本商品の80番ポートへポートを開放する設定を行ってください。



弊社製ルータをお使いの場合は、バーチャルサーバの設定をご覧ください。ルータの取扱説明書は弊社ホームページからダウンロードすることができます。

2　以上で、ルータのポートの開放は完了です。

3　インターネット側から下記の図のようにアドレスを入力することで本商品にアクセスすることができます。

グローバルIPアドレス

アドレス(D)　123.456.789.000　移動



ご使用のルータによっては、ルータと同じLAN内のパソコンからWAN側のIPアドレス(グローバルIPアドレス)で本商品にアクセスできない場合があります。可能な限り別回線でインターネット側からご確認ください。別回線の用意が難しい場合は、携帯電話からアクセスすることができます。「詳細設定ガイド」の「本商品の画像を携帯電話で見る」をご覧ください。

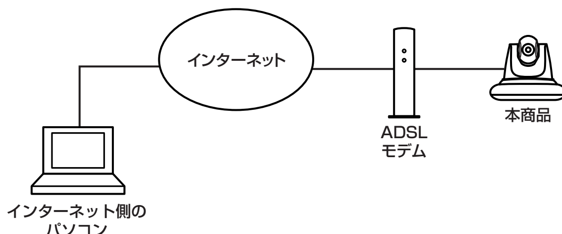
4　ルータに割り振られるグローバルIPアドレスが動的に変わる環境(ADSLやCATVなど)の場合は、グローバルIPアドレスが変わるたびに本商品にアクセスするためのアドレスが変わってしまいます。そのような環境ではダイナミックDNSサービスをご使用になることをお勧めします。ルータがダイナミックDNSに対応している場合は、ルータのダイナミックDNSをご使用ください。詳細はご使用のルータの取扱説明書をご覧ください。ルータがダイナミックDNSに対応していない場合は、本商品のダイナミックDNSをご使用ください。ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「URLを指定して画像を見る(ダイナミックDNSの設定)」をご覧ください。

5　ダイナミックDNSを使用した場合は、以下の図のようにアドレスを入力することで本商品にアクセスすることができます。

ダイナミックDNSで登録したドメイン名

アドレス(D)　http://core-net.server.cc　移動　リンク »

■モデムおよびアクセスポイントを使ってインターネットに接続する場合



上記の図のようにモデムなどで本商品を直接インターネットに接続している場合、ポートを開放する必要はありません。インターネット側から下記の図のようにアドレスを入力することで本商品にアクセスすることができます。

グローバルIPアドレス

アドレス(D) 123.456.789.000 移動



本商品に割り振られるグローバル IP アドレスが動的に変わる環境（ADSL や CATV など）の場合は、グローバル IP アドレスが変わるたびに本商品にアクセスするためのアドレスが変わってしまいます。そのような環境ではダイナミック DNS をご使用になることをお勧めします。ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「URL を指定して画像を見る（ダイナミック DNS の設定）」をご覧ください。

実際にインターネット経由で画像を見る

「NCView A」でインターネット経由で画像を見るには、次のようにします。

1 「NCView A」を起動します。

2 メインウィンドウが表示されたら、登録したいカメラのアイコンをクリックします。

3 ［IP アドレス入力］をクリックします。





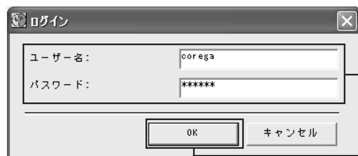
インターネットを経由している場合は、カメラは自動で検索されません。

4 ダイナミックDNSサイトで取得したドメイン名を入力し、［登録］をクリックします。ポートを指定している場合はドメイン名の後に「：（指定するポート番号／例では80）」を入力してください。



※画面は入力例です。

5 P.27の手順4で設定したユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



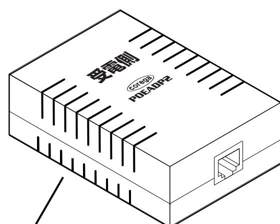
しばらくすると、登録したカメラの画像ウィンドウが表示されます。

PoEアダプタを使って接続する

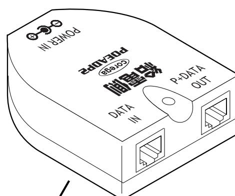
別売のPoEアダプタ（CG-POEADP2）を使用すれば、コンセントから離れた場所にも本商品を設置することができます。

■PoEアダプタについて

コレガのPoEアダプタ（別売：CG-POEADP2）は、コレガのネットワーク製品に接続して電源を供給するアダプタです。本商品に接続すれば、コンセントから離れた場所にもカメラを設置することができます。



受電アダプタ



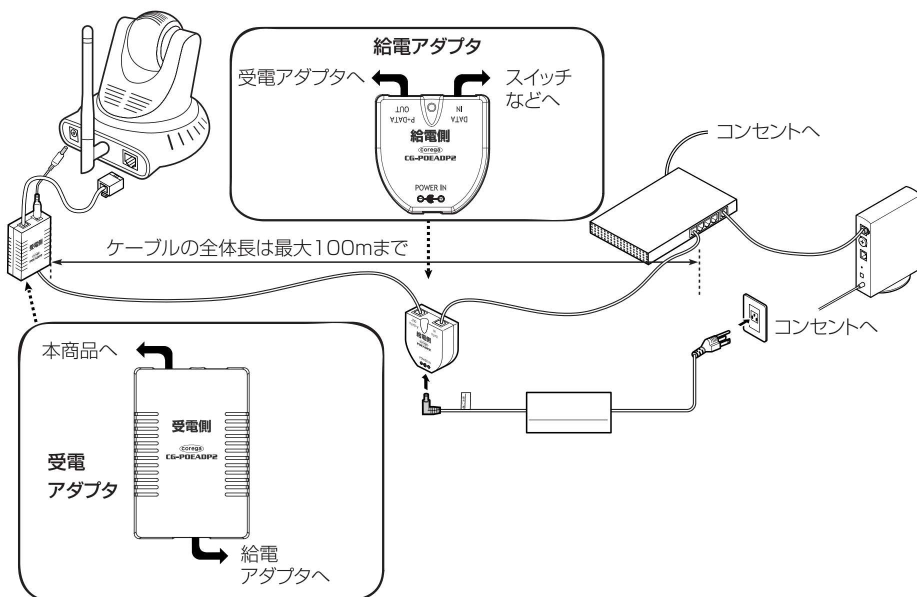
給電アダプタ



必ずPoEアダプタ専用ACアダプタをご使用ください。誤って別のACアダプタを使用すると、故障または破損する恐れがあります。

■PoEアダプタとの接続例

本商品との接続は次の接続例を参考に行ってください。





- PoEアダプタの専用ACアダプタを本商品に接続しないでください。故障または破損する恐れがあります。
- PoEアダプタの給電側の「P＋DATA OUT」および受電側の「LAN IN」に、ハブやパソコンなどを接続しないでください。故障または破損する恐れがあります。
- LANケーブルにはカテゴリ5のUTPケーブルをご使用ください。コレガ製品をご使用されることをお勧めします。
- PoEアダプタにはリピータ（スイッチ）の機能はありません。接続するネットワーク機器（ルータやハブなど）からPoEアダプタを経由した本商品までのケーブルの全長が100mを超えないように注意してください。

4

製品仕様

一般仕様			
有線LAN仕様	サポート規格	IEEE802.3u(100BASE-TX)/IEEE802.3(10BASE-T)	
	ポート	RJ-45×1ポート	
	規格	100BASE-TX/10BASE-T(オートネゴシエーション) Full Duplex/Half Duplex(オートネゴシエーション)	
	MDI/MDI-X切換	自動認識	
	アクセス方式	CDMA/CD	
	伝送速度	10Mbps/100Mbps	
	フローコントロール	なし(Half duplex時:バックプレッシャ)	
無線LAN仕様	サポート規格	国際規格	IEEE802.11、IEEE802.11g、IEEE802.11b
		国内規格	ARIB STD-T66
	周波数(中心周波数)/チャンネル	IEEE802.11g	2.412GHz~2.472GHz/1~13ch
		IEEE802.11b	2.412GHz~2.472GHz/1~13ch
	伝送速度	IEEE802.11g	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
		IEEE802.11b	11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	IEEE802.11g	OFDM(直交周波数分割多重変調方式)
		IEEE802.11b	DS-SS(直接拡散型スペクトラム拡散方式)
	伝送距離	屋内100m/屋外300m(54Mbps通信時:屋内30m/屋外40m) ※環境により異なる	
	アクセス方式	CSMA/CA	
	対応モード	Infrastructure/Ad-Hoc	
	セキュリティ	WEP(64/128bit)/WPA-PSK(TKIP)	
プロトコルとサービス	HTTP、FTP、TCP/IP、UDP、ARP、ICMP、BOOTP、RARP、DHCP、PPPoE、DDNS、UPnP		
カメラ部仕様			
	センサ	1/4カラーCMOSセンサ、(640×480pixel)	
	画素数	30万画素	
	ゲインコントロール	自動	
	露出	自動	
	ホワイトバランス	自動	
	シャッタースピード	電子シャッター 1/150,000~1/60秒	
	最低照度	2.5lux(f1.4、3000K カラー)	
	画角	垂直:28度、水平:37度	
	レンズ	6.0mm	
	絞り値(F値)	F1.8	
	撮影距離	20cm~∞	
	カメラ可動部	左右(パン)±170度(340度)/上下(チルト)−45~90度(135度)	
	カメラ制御方法	ファームウエアおよびユーティリティより制御	
ビデオ部仕様			
	画像圧縮方式	JPEG	
	ビデオ解像度	640×480(VGA)、320×240(CIF)、160×120(QCIF)	
	フレーム転送速度	10fps@VGA、25fps@CIF、30fps@QCIF	
その他仕様			
電源部			
	本体	最大消費電力	5.5W
	ACアダプタ	定格入力電圧	AC100V(50/60Hz)
		定格入力電流	500mA
アンテナタイプ	着脱式ダイポール型アンテナ		
対応OS	Windows XP/2000/Me/98SE		
対応ブラウザ	Internet Explorer 5.5以降 ※Webブラウザでカメラを制御する場合、Java Plug-in 1.3.1_0(JAE)以上が必要		
環境条件	動作時	温度0~40℃/湿度90%以下(結露なきこと)	
	保管時	温度−10~60℃/湿度95%以下(結露なきこと)	
本体寸法	119(W)×119(D)×108(H)mm 本体のみ(アンテナを含まず)		
本体質量	260g 本体のみ(アンテナ、ACアダプタを含まず)		

出荷時設定

項目	初期値
デバイス名	NCXXXXXX（XXXXXXはMACアドレスの末尾6桁）
ログイン名	空欄
ログインパスワード	空欄
IP設定	固定IPアドレス
IPアドレス	192.168.1.245
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	0.0.0.0
DHCP	自動取得
DNSサーバアドレス	
優先DNSサーバ	0.0.0.0
代替DNSサーバ	0.0.0.0
ダイナミックDNS	無効
DDNSサービス	
ドメイン名	空欄
ユーザ名	空欄
パスワード	空欄
ワイヤレス設定	
通信モード	インフラストラクチャモード
ESSID	corega
チャンネル	6
暗号化	無効
LEDコントロール	通常
セカンドポート	無効
セカンドポート番号	0（空欄）
解像度	320×240
圧縮率	Medium
フレーム転送速度	Auto
電源周波数	50 Hz

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本商品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上必要事項を記入したものと製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、製品（添付品一式と共に）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。
※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

・修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
・保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
・製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記ホームページに有償修理価格が記載されておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

2005年1月　初　版
2006年6月　第三版

【弊社ホームページのご案内】

弊社ホームページでは、各種商品の最新の情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

【製品に関するご質問は…】

製品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際には弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただだいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかでお問い合わせください。

■お問い合わせ先

〈corega　サポートセンタ〉

Mail サポート:下記 URL からユーザ登録をした後、お問い合わせください。

http://corega.jp/faq

TEL.045-476-6268

FAX.045-476-6294

〈受付時間〉

10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00　月～金（祝・祭日を除く）

※サポートセンタへのお問合せは日本語に限らせていただきます。
This product is supported by Japanese only.

■必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- 製品名
- シリアル番号（S/N)、リビジョンコード（Rev.）
- お名前、フリガナ
- 連絡先電話番号、FAX 番号
- 購入店
- 購入日付
- お使いのパソコンの機種
- OS
- お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）
- 接続構成



本書は再生紙を使用しています。